

DOSHISHA

Tokyo Journal

同志社東京ジャーナル

2022
Spring
No.127



同志社東京校友会 INDEX

表紙写真：寒梅館（室町キャンパス）

- ・【若手校友座談会】若手校友と校友会活動
～ 現状と課題、今後の活動について～
- ・登録団体活動レポート・テニス部OBOG会
- ・2021年 関係諸団体の活動レポート
- ・片桐家同志社五代記（四十）
- ・連載コラム 今出川・京田辺四季

- ・DXイノベーションチャレンジ 2021
- ・同志社スポーツ・硬式野球部
- ・「2022 秋の集い」のご案内
- ・新島襄生誕の地碑に献花
- ・定期総会・評議員会・幹事会のご案内
- ・校友会「俳壇」



司会 谷村常任幹事

りました。

東京校友会との「きっかけ」

なるほど。わかりました。

皆さん、卒業後、関東圏で生活することになったという話です

が、その中で、同志社に東京校友会があることを知っていたか

どうか。いかがでしょう。

福岡 多分、何かで「春の集い」

のことを知つて、行ってみたのだ

と思います。初めて「春の集い」

に参加して、そこから校友会に

つながつていつたような気がしま

す。今はメディア系のつながり

が広がつて、その集まりにちょっと

と顔を出したりしていつたという

感じです。

谷村 李佑記さんはどうですか。

李佑記 兄と一緒に2017年の「春の集い」に参加したつて

いうのが経緯なので。兄からどう

うぞ。

李良剛 そうですね。同志社大学東京オフィスの安永さんから

「春の集い」の印象

谷村

「春の集い」へ参加してみての印象はどうでしたか。

李良剛 O.B.、OGの方々が本

当にご尽力されていますが、若手をもつと活用して、元気溌剌にやるとか(笑)。中身のコンテンツ 자체がやっぱり若手向けてなっていない。これでは、多分、

の誘いで参加しました。

谷村 東京にも校友会があつたのか、みたいな感じ?

李良剛 そうです。東京校友会の認知度は、フェイスブックペーパーから一気に上がつたということ

があると思います。私はたまたまサテライトに行つたことがきっかけで、「春の集い」に参加し、そこで出会つた先輩方から、いろんな集まりがあると知りました。

谷村 お話を伺つてみると、この年代にはフェイスブックの影響は大きいですね。

李良剛 はい。卒業してからは、やつぱり情報の空白ができてしまつて、そういう動線を作つていく必要があると思います。

谷村 フェイスブック、インスタグラムなど、みんなが取り上げているのを見て知つたというのがきっかけ

で、今でも続いてる交友関係が

ありますから、本当に20代の若

手のうちにああいう場に参加さ

せていただいたのはすごく有意義

だったなと感じています。

谷村 なるほど。大畠さんはどう

んなきっかけだったのですか。

大畠 私もやはり「春の集い」から参加しました。

谷村 それ以前に、東京校友会はご存じでしたか。

大畠 多分、案内状からです。

谷村 はじめは、東京校友会があると

いう認識は、大学卒業後も東京に来ても無かつたと思います。

佐藤優さんの講演があるという

ことで興味があつて、「春の集い」

に参加しました。

若手は集まりにくいと思います。もつと若手が前面に出るコンテンツや面白いものがないか。この時代、オンラインでどうやってやるべきかについて考えていく必要があると感じます。

李佑記 同志社という価値観というか、絆というか、そういうた

ものはあるのではじょうか。

同じ大学出身という自分のアイデンティティによるものでじょう

ね。その「春の集い」がきっかけで、今でも続いている交友関係が

ありますから、本当に20代の若

手のうちにああいう場に参加させ

ていただいたのはすごく有意義

だったなと感じています。

谷村 なるほど。大畠さんはどう

んなきっかけだったのですか。

大畠 私もやはり「春の集い」から参加しました。

谷村 それ以前に、東京校友会はご存じでしたか。

大畠 多分、案内状からです。

谷村 はじめは、東京校友会があると

いう認識は、大学卒業後も東京に来ても無かつたと思います。

佐藤優さんの講演があるという

ことで興味があつて、「春の集い」

に参加しました。

大畠 全員に席があるんだ、こんなにいい料理が出るんだ(笑)、すごいなっていうのが第一印象。

また参加者がこんなにいるっていうのも驚きました。

校友会との「つながり」

谷村 よく分りました。今までのお話の中でも、安永さんというお名前がでましたが、そういうキーパーソンがいてこそですね。

新田 安永昌代さんは東京オフィスの大学職員で、東京校友会の常任幹事でもあります。

大畠 これまでに東京校友会との接点です。そこで初めて東京校友会を認知したという次第です。

谷村 よく分りました。今まで

のお話の中でも、安永さんというお名前がでましたが、そういう

キーパーソンがいてこそですね。

新田 安永昌代さんは東京オ

フィスの大学職員で、東京校友会の常任幹事でもあります。

谷村 東京校友会の基礎組織と

して、卒業年次会だと、それ

からいろいろな業種別の会があり

ます。今、大畠さんの方から「不

動産関係のクローバー倶楽部」

というお話がありましたけれど

も。そんな感じで現在所属して

いるというのはありますか。大

畠さんはいかがでしょう?

大畠 私は東京メディアクローバー会の事務のお手伝いを昨年

1年間しておりました。

谷村 メディアクローバー会に入る前から、東京校友会の会員になつていたのですか。

大畠 そうです。そこで先輩から誘われて、メディアクローバー会のお手伝いを、ということで。

谷村 先だって李良剛さんに「東

いうことで、東京オフィスの安永さんのところに行つて相談した時、「東京校友会にもぜひ参加してみてね」って言われました。

これで初めて東京校友会を認知したという次第です。

大畠 さうして、東京校友会があつたのか、みたいな感じ?

李良剛 そうです。東京校友会の認知度は、フェイスブックペーパーから一気に上がつたということ

があると思います。私はたまたまサテライトに行つたことがきっかけで、「春の集い」に参加し、そこで出会つた先輩方から、いろんな集まりがあると知りました。

谷村 お話を伺つてみると、この年代にはフェイスブックの影響

は大きいですね。

李良剛 はい。卒業してからは、やつぱり情報の空白ができてしまつて、そういう動線を作つていく必要があると思います。

谷村 フェイスブック、インスタグラムなど、みんなが取り上げているのを見て知つたというのがきっかけ

で、今でも続いている交友関係が

ありますから、本当に20代の若

手のうちにああいう場に参加させ

ていただいたのはすごく有意義

だったなと感じています。

谷村 なるほど。大畠さんはどう

んなきっかけだったのですか。

大畠 私もやはり「春の集い」から参加しました。

谷村 それ以前に、東京校友会はご存じでしたか。

大畠 多分、案内状からです。

谷村 はじめは、東京校友会があると

いう認識は、大学卒業後も東京に来ても無かつたと思います。

佐藤優さんの講演があるという

ことで興味があつて、「春の集い」に参加しました。

谷村 参加した最初の印象つて

どんな感じでした?



大畠幸司さん (2006年・商)

京ジャーナル』に出ていた大いに安永さんが記事を書いてくれましたが、そのときのテーマ「ヤングオール同志社」というひとつ運動、なのかな、これについてちょっと語つていただけますか?

李良剛 もつと若手に焦点を置いていた集まりがあればいいなと感じていて、じゃあ、自分で作つてみようと思つたわけです。それで、「春の集い」などで若手に出会つたら、とにかく若手同士いろいろ情報交換をする場とか、自分のキャリアや自分の仕事、同志社に対する思いとか、そういうつながりを作つていただいなということになりました。そやつて、「ヤングオール同志社」という会を立ち上げたのが3年前です。

谷村 ヤングっていう言い方そのものも懐かしいけれど。(笑)

李良剛 目的はやっぱり若手が情報交換する場、触れ合う場を作つてということですね。40

～50人でオフラインの会をして情報交換していく場つていうのを作つていましたので、2019年12月に百人ほどにお声をかけて集まりました。

若手からの提案

李良剛 ギヤップを感じるのは、同志社つていうのは京都なので、やっぱり京都の校友会本部が東京のことを理解しきれてないな、ということを感じます。東京に行くと、こんなにつながりがなくなつていくつて感覚とか、そ

ういう東京の現場のことについての本部とか大学の認識が全然違うつてことがあるのではないでしょうか。ですから、本部や大学をもつともつと巻き込んでいくという部分も、東京校友会をこれからどういうふうにしていくかということの中で考えていく必要があるなとは思いますね。

谷村 弟さんの方もほぼ同じお考えでしようか?

李佑記 私たちに何がどこまでどうできるのか、そこがもう少しクリアになるいろんなアイデアが出てくるのかなと思います。校友会の会員数を増やすということが、まず大前提ではあるとい

ていいなくちや、というのはあると思います。この2年間はコロナ禍で残念ながらできていないのですが、「春の集い」の他にもいろいろなイベントを東京校友会としてやつてあるんですよ。皆さん耳には届いていますか?

福岡 そうですか。私はあまり印象ないです。

李良剛 すみません。私もホームページを見て、新島襄の誕生日を訪れるイベントがあるので知りました。私は、同志社大学に入つて卒業して、それが私のアイデンティティというか、自分の心の奥底にすごく立派な大学だなつていう思いがあるんです。そういう意味では、新島襄先生の建学の精神を知るにつけて、ます「立派な人だな」と。私は既にコンテンツっていう意味では、同志社にはとても素晴らしいものがたくさんあると思います。ですから、周知の方法で問題があるとすれば、インスタグラムとかTikTokっていうのが若者の主流ならば、これにどう取り組むんだっていうこと。もうひとつはコスト。校友会をもっと改革していくには、人的、時間的なこともかかるので、コストをかける。

福岡 私の場合は最初の大学選びの時点から、たくさん先輩がいらっしゃるところの方が卒業してからもつながりがあるだろうなって思つて選んだという所もあります。

谷村 良剛さんは、どういふふうにその辺はどうでしょうか。

福岡 まさにそういう問題意識を共有していくなくちゃいけんなと思っていますが、福岡さんは、その辺はどうでしょうか。

谷村 まさにそういう問題意識で、同志社にはとても素晴らしいものがたくさんあると思います。ですから、周知の方法で問題があるとすれば、インスタグラムとかTikTokで、そういうものを使って戦略的に広く認知させていくことが大事ではないでしょうか。

谷村 分りました。そういう意味で、認知のさせ方について、女性の視点みたいなのも含めて、



李良剛さん (2008年・文)

福岡さんからなにかご意見は? そうですね。「春の集い」などに実際に行つた友だちの感想とかがすごく影響が大きいかなと思います。友だちが「行って良かった」とか言つていれば、「じゃあ、私も行ってみようかな」みたいな。更においしいごはんが食べられるとかになると(笑)、「ああ、もう行こう」っていうモチベーションに変わる感じです。

李良剛 佐藤優さんとか、資生堂の魚谷社長ですか、いろんな方々のお話を講演会でお聞きできるというのは本当に貴重です。また、具体的には、役員の中にある程度リーダーシップのある若手を入れていくというのも1つ。例えば、インスタグラムとかTikTokが若者の主流ならば、これにどう取り組むんだっていうこと。もうひとつはコスト。校友会をもっと改革していくには、人的、時間的なこともかかるので、コストをかける。

谷村 現役の方々つて時間がないじゃないですか。どうしても仕事優先というのがあるでしょうから。その中で、催し物に参加するのは、なかなか難しいところ

があると思うのですが、そのあたりについて大畑さんや大槻さんは、何かご意見は？

大畑 そうですね、「校友会のこのういうの、やつてみないか」ってお説いたいだいたとしても、そのときに、自分も変わらなきやという危機感みたいなものがなといとやらないかもしませんね。

興味のあるコンテンツとか、先ほど佑記さんがおつしやったように、コンテンツが大事だつていうのは分るんですけど。仕事が忙しいで終わらせるのではなく、どうやつたら、僕らの世代が集まつてくるのかを考える必要がありますね。

大槻 李さん兄弟と福岡さんが言われたことにかなり同意しているところです。これから同志社のブランディングを立ち上げて、どんどん高くするつて、僕らにも全部メリットのある話だし。

谷村 李良剛さん、どんな感じでしようか。具体的に。

李良剛 会を面白くすればいいかなと思います。正直、ちょっと乱暴な言い方かもしれないですが、若い人を集めるだけだと、宇垣アナウンサーとか、霜降



李佑記さん (2010年・法)

り明星とか、もうちょっと同世代に寄った方々を呼べば、シンプルに若手側も何か面白そなうだなつて、普通に集まる。あとは、オフランの集まりは時間帯とか、枠組みの構成、もしくは、年齢層で分けるのが、そういうところで工夫する必要がある。会費はやっぱり、若手のことを考えると、ある程度世代別に段階をつけていくと、より若手も参加しやすいのかな、と思いますね。

谷村 佑記さんはどうでしょう。

李佑記 僕の中ではある程度答えが出ていて、どの層を増やしていきたいのか、そのためにはどのコンテンツをぶつけしていくのか考

えが出ていて、どの層を増やしていくのかな、と思いますね。

谷村 年齢が上の方が多いと、若手は入りづらいっていうのがあります。逆に若手だと、あまり属性に関係なくすごく友達になれる。若手のリーダーを立てて、広報にして、それを今の若者がよく使う媒体を選んで、そこにコンテンツをぶつけていく、きちんと年齢制限を設けていく。そういうことを若手の中で自由にやらせてし、その年代になるとトラディッシュナルなものとか、人生観とかも変化があつて、歴史に目を向けてみようとか、同志社の文化に触れてみようとか、ちょっとそういう変化もあるでしょう。

谷村 李良剛さん、どんな感じでしようか。具体的に。

李良剛 会を面白くすればいいかなと思います。正直、ちょっと乱暴な言い方かもしれないですが、若い人を集めるだけだと、宇垣アナウンサーとか、霜降

ですから、20代、30代に向けては、何か受けるもの。そこに向けてのコンテンツをピンポイントで育てていくつていうことをやると、盛り上がるかなというふうに思っています。やっぱり若手が盛り上げないと。

谷村 刺激的ですねえ。

李佑記 年齢が上の方が多いと、若手は入りづらいっていうのがあります。逆に若手だと、あまり属性に関係なくすごく友達になれる。若手のリーダーを立てて、広報にして、それを今の若者がよく使う媒体を選んで、そこにコンテンツをぶつけていく、きちんと年齢制限を設けていく。そういうことを若手の中で自由にやらせてし、その年代になるとトラディッシュナルなものとか、人生観とかも変化があつて、歴史に目を向けてみようとか、同志社の文化に触れてみようとか、ちょっとそういう変化もあるでしょう。

ならぬオーラあつて、やっぱり生で見るとほんとすごいというのを感じました。それってやっぱり同志社の卒業生だからできることだなとも思いますので、そういう緩急というか、古いものと新しいものとかを取り入れながら、いろんな方の心に刺さるような内容だと、いろんな方が来やすくなります。

あと、参加した人に感想を発信してもらうと、私みたいな、その感想を見て、「行きたいな」と思う人も増えると思うので、会の存在を知つてもらうきっかけにはなるのかなと思いますね。

谷村 わかりました。『東京ジャーナル』の今回のテーマとしては、本当にいいお話をたくさんいただき、ありがとうございました。

谷村 東京校友会は頼れる、東京校友会に相談に行けばなんとわかる、みたいな存在にならなければいけないな、ということです。今までのお話を含めて、催し物だとか参加の仕方、何かご要望なりご意見、ありましたら伺えますか。

福岡 カズレーザーさんとか、やっぱりすごい人気だと思うので、有名人をお呼びするのが効果的かなつて。でも、一方で、この間私が参加したとき人間国宝の方がいらっしゃつていて、ただ

たりコミュニティづくりの中ですごく長けていらっしゃるメンタみたいな方が卒業生の中で多いらっしゃると思うので、そういう方にもアドバイザーで入つてもらつたりする。そうすると、その若手層のキャリアだつたり、語れるものにながつたり。インターンみたいな形ですごく鍛えられるみたいな形でごく良い循環が生まれるかなと。とにかくそこに向けての、まずは雪だるまの芯を作つていくつていうこと。それがすごくキーナのかなと思つています。

谷村 いいお話だと思います。やっぱり京都から東京へ来たときに、東京校友会は頼れる、東京校友会に相談に行けばなんとわかる、みたいな存在にならなければいけないな、ということです。今までのお話を含めて、催し物だとか参加の仕方、何かご要望なりご意見、ありましたら伺えますか。

福岡 カズレーザーさんとか、やっぱりすごい人気だと思うので、有名人をお呼びするのが効果的かなつて。でも、一方で、この間私が参加したとき人間国宝の方がいらっしゃつていて、ただ

では、本当にいいお話をたくさんいただき、ありがとうございました。

こうした内容が東京校友会の活動に反映されて、更なる活性化につながるよう、ご協力を

お願いできれば、と思います。



福岡良子さん (2011年・商)

2021年 東京校友会 関係諸団体の活動レポート

団体名	イベント名、日時、会場、参加者数、講演者、講演テーマなど
神奈川県支部	「神奈川の集い2021」(総会・講演会) 11月21日(日) オンライン開催 41名参加 植木朝子学長講演「同志社の現状と未来」 通信環境が無くオンライン参加が出来なかつた支部会員のために下記イベントを実施 「神奈川の集い2021 ビデオ映写会と同志社ラグビー応援の会」12月26日(日) 12名参加 その他の支部公式活動はコロナの影響で開催を中止致しました。
千葉県支部	「総会・特別講演会」6月5日(土) 山崎製パン企業年金基金会館 植木学長による特別講演会「梁塵秘抄の世界—平安時代の流行歌」 昨年に続いて本年も対面での開催は中止、総会のみ書面決議としました。「千葉再発見の旅」などのイベント、「音楽、美術、ゴルフ、Chiba ウォーク」等のサークル活動も中止。一方新たにZOOMによる勉強会「千杉会」がスタート。「支部だより」は春と秋に発行。
埼玉県支部	2021年度に予定していた下記の行事は、いずれもコロナ禍のため中止・延期しました。 「同志社マンドリンクラブ演奏会」(9月) 川口市リリア音楽ホール 「埼玉県支部総会」(11月) 大宮・東晶大飯店 「新年会」(1月29日) 浦和市内
群馬県支部	2021年に予定していた下記の行事は、いずれもコロナ禍で中止しました。 「第8回春の集い」(3月) 「群馬県支部総会・講演会・懇親会」(10月3日) マリエール高崎 総会は文書による「活動報告」と「会計報告」の2議案を議決(212通発信で否決無し) 「新島研究会旅行」(10月) ゆかりの地(松山・今治・しまなみ海道)へ2泊3日
栃木県支部	栃木県支部は活動休止の状況でしたが、2021年11月以降、同志社校友会からの要請を受け、東京校友会の支援のもと栃木県地区における支部組織を復活させるべく、2022年6月の「栃木県支部設立総会」開催に向けて、支部再設立準備担当(発起人一同)が活動しております。
茨城県支部	コロナ禍の不安により、10月24日に予定していた総会・懇親会は中止となった。各役員より書面での会計報告承認を得たのち、11月10日付で2021年度の決算報告書を全433部送付した。同時に「VISION2025」の資料を同封し募金への賛同をお願いした。
山梨県支部	2021年に予定して下記の行事は新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、残念ながらいずれも中止いたしました。 「夏の集い」(7月) 「第9回総会・講演会・懇親会」(12月) 総会は、講演者等決定前に役員で協議する中、やむなく開催中止を決定。 総会は書面で決議し、全員から承認を得ました。
長野県支部	「同志社フェア in 松本」4月29日【開催中止】 「長野県支部総会・講演会・懇親会」開催中止にて書面決議 「植木学長 来訪」7月27日 松本パルコ 「同志社フェア in 松本」2022年7月9日開催に向けて 12月15日(水) キックオフミーティング 松本商工会議所
同窓会東京支部	「総会」5月26日(水) ZOOMにて 参加者29名 委任状12名 議決権行使書25名 計66名 靈南坂教会後宮敬爾牧師の奨励「種蒔く人生」 「ニュースレター」2月12日発行 1,734名に送付 総会議案採決結果・ZOOM総会のノウハウ 「讃美歌を楽しむ会」開催不可能 「月例会」ZOOM役員会「こころみ」続行中
樹徳会東京支部	「総会・講演会・懇親会」12月4日(土) 学士会館 講演:百合野正博氏(同志社大学商学部名誉教授) コロナ禍にて開催中止となりました。
同経会東京プロジェクト	例年、秋頃に日本プレスセンターで開催しております「東京のつどい」は、新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、参加者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、2021年度の開催を中止とさせていただきました。
政法会東京支部	2021年度はコロナ禍のため全般的に活動を控えました。 「政法会会報」(53号、9月1日発行)に「東京支部だより」を掲載
理工会東京支部	2021年度はコロナ禍のために活動ができておりません。
関東同志社スポーツユニオン	「総会」10月24日(日) 学士会館【開催中止】 女子ラクロス部応援 大学選手権決勝VS日体大 11月28日(日) 駒沢オリンピック公園 ラグビー部応援 大学選手権準々決勝VS帝京大 12月26日(日) 秩父宮ラグビー場

載企

片桐家同志社五代記

その四十

文／片桐 阳(67年・工)



大学1年生の筆者(前列右端)と古庄君(後列右端)

同志社学生聖歌隊(DSCC)には高校からの仲間も入部したが、受験して大学に入った者が多かった。中学、高校と6年間一緒に学び友達というより兄弟姉妹というような付き合いをして来た仲間ではなく、日本各地から入学してくる人との付き合いは、新鮮そのものであった。私は推薦入学組は、入試という難関を全く経験することもなく、どちらかというとほんとし

こともありすぐに仲良くなつたのは勿論で、我が家にも頻繁に遊びに来るようになつた。清里での夏期合宿時の彼の工ピソードを書かせていただく。合宿では、午前、午後、場合によつては夜も練習が続くのだが、昼食後でお腹いっぱいの午後の練習は、夜更かしの我々には一番きつい時間だつた。宗教曲の途中、長い休止から次の合唱が始まつた強者である。大分から来た古庄史郎君など、ると生徒というより先生のよう

張して次の部分を歌おうとした時、ズズズーと大きなびきの音が聞こえ、みんなで大爆笑。その音の主が古庄君だつたが、練習中に寝てしまつた強者である。さて、卒業後彼は金属加工会社に勤め東京に移り、暫くは付き合いも途絶えてしまつた。しかし私が28歳で東京に転勤、31歳で横浜に住まいを購入、彼も

我が家から車で10分と近くに住んだことから、その後は家族ぐるみで付き合うようになった。

学生時代に初めて彼に会つてから既に60になろうとしている

が、未だに親しく付き合えるのは、同志社に学んだこと、学生聖歌隊での繋がりがあつたから

こそ感謝している。

話がちょっと脱線するが、彼との武勇伝を一つ披露したい。彼は仕事で韓国に駐在していたことがあり、韓国語も流暢に話すが、その折の付き合いから、2009年「日韓交流カラオケ大会」に出席することになる。それには日本と韓国で予選がありなのだが、外部から入つてく

る人は、同じ歳と思えない程大人の感じがした。

大分としたもので、ちょっと見ると生徒というより先生のよう

今出川・京田辺四季

スポーツユニオン副会長
ラグビー部OB会名譽会長
村口和夫(72年・法)

50年前の花園ラグビー場での死闘

私は同志社香里高校から法学部に入学、先輩の強引な勧誘でラグビー部に入部しました。当

時は学園紛争の最盛期、落書き

だらけでバリケード状態でした。そんな訳で岩倉グランドに通う毎日で、練習が終わると擦り傷だらけでした。現在の京田辺のグランドは、原先輩やファンク

ラブ会長の「がんこ」の小島さんの寄付により立派な人工芝になつており、隔世の感があります。

在学中の同志社は関西ではほ

ぼ無敵でしたが、全国大会では

ベスト4止まりでした。ラグ

ビーはルールがよく変わるス

ポーツですが、全てオープンに

無事予選通過。

ルールは単純で日本人が韓国

のみ。私は韓国語が堪能な彼の

指導で韓国語を猛練習、80年代

に流行つたグループの曲を私が

ハーモニーを付けて歌い決勝戦

で熱唱、何と二百数十組の中で

優勝してしまつた。7回目の大

会で、初めて日本人がグランプリを獲得したのだ。

の選手としてソウル、スコットランドなどで試合を経験しましたが、今でもこの近畿大学との試合が一番記憶に残っています。たが、今でもこの近畿大学との試合が一番記憶に残っています。志社は30年以上全国優勝から遠ざかっていますが、現役の奮闘を期待しています。

入れ替えが可能となつたこと。今では8人のリザーブが認められ、監督の判断で隨時入れ替えが可能となつていますが、当時は負傷退場したら減員のままゲームを継続していました。

4回生の関西リーグ、花園ラグビー場で近畿大学との試合、前半でFWの主力が脱臼、後半でもう一人のFWが



天理大との決勝戦でトライする筆者



後列左から 吉田一茂さん、飯塚紘子さん、宿久洋教授
前列左から 岡部格明さん、東海林岳寛さん、酒井俊樹さん

トピックス ものづくり やつだね!

同志社大学生とUAC 合同チームが準優勝!

DXイノベーションチャレンジ2021



文化情報学部・研究科の学生達のDXイノベーションチャレンジでの成果は、校友と大学教授の東京オフィスでの出会いが始まりました。

イノチャレは、デジタル社会を牽引できる人材の育成を目的とする実践プロジェクトで、育成セミナーからビジネス企画コンテスト決勝審査まで約半年かけます。同志社大学の学生3名と、株式会社ユビキタスAIコーポレーション(以下UAC)のチームが「データを基にしたジョブ型の働き方」を提案し見事準優勝／IPA審査員特別賞に輝きました。

(詳細はイノベーションチャレンジで検索してください。
<https://innovation-challenge.biz/>)

学生と企業人をつなぐ

チームの結成はイノチャレ審査委員の小西一有さん(88年・工学部工業化学科卒)がUACの長

谷川社長と文化情報学部の宿久教授をつないだことで実現しました。宿久教授の同志社講座(東京オフィス)を小西さんが受講されて以来交流されきました。宿久教授は「学生に企業の方々とのコラボができるいい機会をいただき感謝しています。データとAI活用がジョブ型雇用社会への変換につながることを期待しています」とコメント。

UACからは、プログラマーを経て現在はディレクター(企画室主任研究員)の吉田さんと事業部長の飯塚さんが参加、チームを牽引してくださいました。リモートワークでのメンバー管理が日常という飯塚部長は「データによる業務評価、可視化は重要なっています。今回のプロジェクトはIT業界の将来的な採用面でも意義のあるものでした」と総括。

吉田一茂さんは「外資系企業のプログラマーはすでにジョブ型です。成果の評価をAIとデータの組み合わせで定量化することを目指しました。オンラインで打合せを重ねましたが、学生さん達からは毎回着実にアウトプットがあり会社のプロジェクトみたいで楽しかったです」とのこと。学生の感想も聞きました。



小西一有さん
から一言

DXは、「データ
解析により社会
的な構造変化を
目指します。そ
こで、統計・解
析が専門的の文
化情報学部宿久教授に学生の「コンテスト出
場可否を打診しました。過去、イノチャレ
した例はありましたが、統計・解析やAI
が専門の学生の参加ははじめてです。学生
さん達が初出場で見事に準優勝に輝きました
他の大学の商学部や芸術学部の学生が出場
しましたが、統計・解析やAI
委員としても大学OBとしても誇らしい気
持ちです。」

チコア代表／同志社大学大学院嘱託講師

岡部格明さん(博士課程1年)
「評価がされない同一賃金のアル

バイトでの不満をテーマ設定の
入り口にしました。発表までの
活動でマネジメントを多く学ぶ
機会となりました」

酒井俊樹さん(4年次生)
「社会人の方とのプロジェクトは
初めて。学ぶことばかりでした。

特に、コンペに出ていくまでのア
イデア出しは新鮮な経験でした」

東海林岳寛さん(4年次生)
「働いておられるお二人からはと
ても刺激を受けました。面白く
ないので消そうとした発想を広
げていくなどは特に、手法の多
さに感動しました」

*年次は取材時のものです。
本件は、東京オフィスが東京
の校友と大学をつなぐHUBとして
機能した好事例となりました。
文責／安永昌代(81年・経)



選手から学生コーチへ転向した岡田健吾さん

（経済学部3年）は2021年度秋季リーグを最後に選手を辞め、学生コーチとなつた。高校の頃に名門福知山成美高校野球部の主将を務め、5年ぶりに春の選抜へチームを導いた実力者。しかし、高校時代から悩まされていた怪我を理由に、大学では学生コーチという新しい道へと歩み出した。

野球との出会いは小学5年生の時。友達に誘われて練習体験に参加したのが始まりだつた。当初は野球を面白いと考えず、辞めたいと考えていた。そこで父に提示された野球を辞める条件は「ホームランを打つこと」。小学生には難しい条件だつたため、安易に辞められなくなつてしまつた。そこからしぶしぶ続けていた野球は、次第に岡田さんの重要な財産となる。中学では強豪クラブチームに所属。実力が認められ、高校から声がかかつた。1年からレギュラーとして出場し、より近くで先輩がチームを引っ張る姿を見ていた。「自分もチームを引っ張つてみたい」という思いから主将に立候補。野球嫌いだった少年がチー

怪我で選手を辞めても野球は続けたい。自ら学生コーチに立候補し、選手の意見に耳を傾け提案するコーチになった。

硬式野球部 「提案する」学生コーチ

硬式野球部の岡田健吾さん

して、引退試合で感じた悔しさをバネに、野球を続けることを選んだ。ただ、大学野球は全国からスボーツ推薦で選手が集められる。共に切磋琢磨していく中で、レベルの違いを思い知らされていた。

秋リーグが終わり、チームは新体制へと移つていく。新チームの中から学生コーチを選出しなければならなかつた。立候補者がいない場合、監督から直接転向の声がかかる。選手を辞めたい人など誰もいない。そのような状況で岡田さんは学生コーチに立候補した。理由は怪我が完全に治つていなかつたことや、「仲間に頑張つてほしい」ということだつた。「怪我で思うようにプレーができない自分が残り、怪我をしていない選手が学生コーチへの転向を勧められる」。これが彼の考えた、最悪の状態



硬式野球部の岡田健吾コーチ（経済学部3年）



橋本 純（文学部3年）

全国大会（神宮）に行くことで恩返しを

になつた。岡田さんにとって野球とは「人生で一番思い入れ深く、大事なもの」。常に心に留めていることは周りの環境への感謝だ。野球をするのには多くの人が関わる。チームメイトはもちろん、指導者、親、他人のために時間を割いてくれる人たちばかりだ。それは選手でも学生コーチでも変わらない。「感恩報謝」これまでたくさん的人に支えられ今の自分がいる、人から受けた恩への感謝の気持ちを持ち続けることを一番大切にしたい」と、力強く話した。チームを支え導く学生コーチ。全国大会（神宮）に行くことでまた一つ、支えていただいた皆さんに恩返しをして指示に従う立場から、指導者と同じことを発信する立場へ。学生コーチは選手と監督の間の立場。高校野球にはなかつた役職に最初は戸惑つた。選手として指示に従う立場から、指導者と同じことを発信する立場へ。選手の方が野球の経験値やボテンシャルが高い。「自分ができていらないことは人に言いたくない」という考えが岡田さんを苦しめた。練習に参加していない自分が練習をしている人達に指導することには抵抗があり、出した答えは「提案する」ことだつた。選手の意見に耳を傾け提案することで、今までこなしてきた練



青木重之実行委員長
(1978年・経)

今年こそ、同志社スピリット!

実行委員長 青木重之

「2022同志社東京秋の集い」のご案内

「2022同志社東京秋の集い」の企画案内

前号（126号）でご案内いたしました「2022秋の集い」は、テーマを「再び集え!! ニューノーマル時代と同志社精神×新型コロナウィルスが教えてくれたこと」に決定。具体的企画立案を急ぎます。

前号（126号）でご案内いたしました「2022秋の集い」は、テーマを「再び集え!! ニューノーマル時代と同志社精神×新型コロナウィルスが教えてくれたこと」に決定。具体的企画立案を急ぎます。

コロナまん延第6波が、オミクロン株の拡大で、まだまだ収束の道筋が見えない（起稿中の3月上旬現在）状況ですが、東京校友会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと存じます。

「2022秋の集い」実行委員会は、今年は何とか開催に漕ぎつけるべく、具体的なイベント会にしていきたいと考えています。メインのイベントは、まず、植木学長に、学長就任後ほとんど木学長がコロナで中止となるイベントがコロナで中止となる中で、東京では初めてリアルでの講演をお願いしています。

講演テーマは、同志社大学ビ

青木重之実行委員長
(1978年・経)

の企画を鋭意進めています。開催日時は、9月18日（日）、会場は、品川プリンスホテル5F「プリンスホール」で決定しました。

この会場は、ソーシャルディスタンスを確保しても、中止になつた昨年の最低1.5倍（450名）は収容可能な会場で、今後のコロナの状況次第で、さらに多くの皆様の参加が可能になります。

今年のテーマは、「再び集え!!

ニューノーマル時代と同志社精神×新型コロナウィルスが教えてくれたこと」に決定。

コロナ克服後の新しい日常にどう対応していくのか、新しい生き方・働き方などについて考える機会にしていきたいと考えています。

Webでのコンテンツは、講演や対談（座談会）のライブ視聴は当然として、その他に現役学生が制作した「懐かしの今出川・京田辺の今」を切り取った動画をご観聽いただく予定です。

交換コーナー」を用意するなど、「役に立つ企画」を種々検討してまいります。

参加者の募集については、コロナの状況次第で柔軟に対応していきたいと考えていますが、東京校友会のHPやFB以外にも、SNSなどネットメディアを積極的に活用していくつもりです。

本年前半に総会等の開催を予

の企画を鋭意進めています。

開催日時は、9月18日（日）、

ジヨン2025を中心に取り上げていただく予定です。

さらに、秋の集いの目玉企画として、小説家の真山仁さんを中心異色のメンバーによる対談、あるいは座談会を企画中です。

乞うご期待!!



会場は450名以上収容可能な品川プリンスホテルの「プリンスホール」

定されている登録団体の皆様には、実行委員が直接おうかがいしてご説明させていただきます。

また、例年のお願いで恐縮ですが、ガイドブックへの企業・協賛・名刺広告のご協力も併せてお願い申し上げます。

校友の皆様には、お誘いあわせの上ご参加くださいますよ、重ねてお願い申し上げます。

新島襄生誕之地碑に献花

毎年2月12日には、神田学士会館南側に建てられた「新島襄先生生誕之地」碑前において、学校法人同志社の主催で「碑前祭」が開催され、東京校友会主催で文化事業（講演会など）や午餐会が行われています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き今年もイベントは全て中止になりましたが、2月12日（土）10時45分から神内一憲副会長と前田智彦錦町三丁目町会長が献花を行いました。



前田町会長(碑の右)を囲んで

大募集！〈校友・私の一句〉

* 随時募集・一回2句まで。無料。掲載句には表記の整理添削などを行なう場合があります。投句ははかきは〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F 電話: 03-5579-9728 FAX: 03-5579-9729 発行人/横山 徹 編集人/新田博伸 印刷/株式会社スバルグラフィック https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

（評）「花の雨」とか、いま俳句で「花」といえば「桜」のことだが、万葉の時代などの「花」は「梅」であった。それほどに古くからこの国で愛されてきた「和風」の花だけに、「洋風」文化の讃美歌との配合はやや違和感があるが、そこが逆にこの句の面白さか。またそれが同志社関係者の作であれば、なお客らに「梅」への思いが深まる。

たにむら・たいむ

そこで今号では、特別企画の座談会第2弾として「若手校友座談会」を企画し掲載しました。座談会では、現役で活躍されている若い世代の方々にもっと校友会の活動に興味を持ち、イベントに参加していただくために

校友会「俳壇」 選・谷村鯛夢（72年・文）

作 村満明（77年・法）

東京校友会では、会として取り組むべき重点課題を明らかにし、解決するためには「運営改革プロジェクト・チーム」を編成して活動を開始しています。前号の「新春座談会」でも話題になつてきましたように、東京校友会にとっては「会員の増強」が最大の課題であり、特に若い世代への校友会の認知度向上とイベント参加者の拡大がカギになつています。

そこで今号では、特別企画の座談会第2弾として「若手校友座談会」を企画し掲載しました。座談会では、現役で活躍されている若い世代の方々にもっと校友会の活動に興味を持ち、イベントに参加していただくために

は、どうするべきかを活発に議論していただきました。「まん延防止等重点措置」実施中のため、オンラインでの開催になりましたが、若手の方々から率直なご意見やご提案を数多くいただきることができましたので、それらをこれから改革に生かしていきたいと思います。

文責／新田博伸（77年・法）

編集後記

※2020/2021年度と同様に、コロナ禍対応として、書面開催といたします。

議題（報告事項・審議事項）

①2021年度事業及び会計

2022年度定時総会・評議員会・幹事会のご案内

日程 5月26日（木）

開催方法 書面開催

②2022年度事業及び予算
報告
収支計画
③その他
※お問い合わせ先（事務局）
電話 03-5579-9728
FAX 03-5579-9729
※なお、場所・開催方法を変更する場合はHPで告知します。

DOSHISHA TOKYO JOURNAL
2022.April. NO.127 同志社東京校友会
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F
電話 : 03-5579-9728
FAX : 03-5579-9729
発行人/横山 徹
編集人/新田博伸
印 刷/株式会社スバルグラフィック
https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP会員ページ
ログイン情報
ID=doshisha
PASS=1875



人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社